

工友会報

発行所
 岡山県立岡山工業高等学校
 工友会
 岡山市北区伊福町4丁目3番92号
 編集責任者: 万波 学
 和気紀子
 印刷所: 株式会社サラト



ご意見、情報はこちらまで
 TEL 086-252-5231
 FAX 086-252-7130

歴史と伝統



工友会会長
山内 静 男
 (昭和36年土木科卒)

工友の皆様におかれましては、お元気で暮しのこととお慶び申し上げます。

今年百十周年を迎える伝統ある岡工を母校として、各方面でご活躍の工友各位に深い敬意と感謝を申し上げます。

昨年は、二ヶ月を超える猛暑と少雨に代表される異状気象によって、農作物の品質低下による値上りなどで庶民の台所にも支障をきたすほどでした。

世界のビッグニュースとしては、南米チリの鉱山落盤事故で、三十三人もの鉱夫が六十九日ぶりに救出され、家族と再会したニュースが印象的で、極限状態に置かれた仲間間の心理状態、チームワークに感動させられました。

ノーベル化学賞で、日本から根岸・鈴木の両氏同時受賞というお目出たいニュースもありました。

国内では、宮崎県下で四月から発生し、

四ヶ月後の八月末まで口蹄疫病で約二十九万頭を殺処分した生々しいニュースや、四年前に甲子園を賑わした「ハンカチ王子」斉藤佑樹がドラフト一位指名、日本シリーズでは千葉ロッテの劇史上最大の下克上の優勝を決めたこと、大相撲では横綱白鵬の連勝が六三でストップしたことなど、まだ記憶に新しいところです。

政権交代した民主党は菅首相のもと国会も荒れて、与野党の攻防が続き、安定政権はいつやって来るのか不安材料ばかりです。

さて、母校岡山工業は、明治三十四年にうぶ声を上げ今年十月に百十周年という長い歴史を刻んで参りました。

その間に二八、〇〇〇人を超える卒業生を送り出し、日本国内はもちろん、世界でも活躍している卒業生もいて、岡工の歴史、伝統が各方面で花開く誇らしい学校に育つていきます。その根底には、岡工三年間で学んだ専門分野をベースに、日本の産業界に貢献するという意気込みと努力・研鑽によるものが大きいと思われれます。

誠実勤勉の校風は途絶えることはありません。岡工で培った「岡工魂」「岡工力」を養い、卒業後の先輩・後輩とのコミュニケーションを育て、仲間との「絆」を大切にすることが、百十年をまた次の百二十十年に向けてく羅針盤となるのではないのでしょうか。

百十周年の記念事業の実行委員会もス

創立110周年記念事業予定

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 記念体育祭 | 23年10月4日 | (本校グラウンド) |
| 110周年記念式典 | 23年10月7日 | (岡山市民会館) |
| 記念講演会 | 23年10月7日 | (岡山市民会館) |
| 記念岡工祭 | 23年11月12日 | (本校にて) |
| 記念芸術鑑賞 | 23年12月19日 | (岡山市民会館) |

ターゲットし、着々と準備も整いつつあります。昨年の工友会総会はクラレ岡山支部さんのお世話で、工友約二〇〇人という大勢の参加のもと開催することができました。本年七月には、百十周年を記念する総会を県庁さくら会支部さんのお世話で開催を予定しておりますので、工友皆様の多数のご参加をお願いします。

最後に工友の皆様のご健康とご多幸さならなるご活躍、母校岡山工業高校の発展を祈念しご挨拶とします。



ご挨拶



校長
小林 清太郎

新入生を迎える準備で慌ただしい校内では、暖かな日差しを浴びて桜の蕾も日ごとに膨らみ、確かな春の訪れが感じられる季節となりました。工友会会員の皆様方には、益々ご健勝でご活躍のことと心からお喜び申し上げます。皆様方には、平素から母校教育活動の振興・充実に深いご理解と、物心両面にわたり多大なご支援・ご協力を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

母校は創立二〇九年目を終え、本年十月十日には創立一一〇周年を迎えます。平成二十三年度は、十月七日(金)に岡山市市民会館で開催予定の創立記念式典をはじめ、各種の記念行事等を計画しておりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、本誌面を拝借して学校の近況をご報告いたします。

平成二十二年度からは機械科が二クラスとなり、七学科二十二クラスで学ぶ八七六名の生徒は有為な工業人を目指して、日々「ものづくり」の基礎的・基本的な知識・技術・技能の習得に励んでいます。

近年、力を入れて取り組んでいる技能検定では、普通旋盤二級・一名と三級・二名、

機械系保全作業三級・三十九名、電気系保全作業三級・五名、電子機器組立て三級・二名の、計四十九名(昨年三十五名)の生徒が合格しました。

情報技術科二年の石岡君が、「第三十一回U-20プログラミングコンテスト」で見事第一位に輝き、経済産業大臣賞を受賞しました。

デザイン科二年の遠藤君が、「カバ車・ガールフレンド全国高校生デザインコンクール」で、応募五七〇点の中から最優秀賞を獲得すると同時に、デザイン科三年の田口さんも入賞(四位相当)しました。

機械科二年生の田中君が、「第四十一回機械製図検定試験」において、全国第一位の成績で特別表彰を受けました。岡工生として二年連続の快挙達成となりました。

また、平成二十一〜二十四年度の三年間、県教育委員会から「スーパードライロメントハイスクール研究開発事業」の指定を受け、土木科を中心に七科の生徒と教職員が協力して研究を進めています。このプロジェクトでは、校内に発生するシュレッターダスト、コンクリート廃材、鋼材片等をリサイクルして、コンクリート製品として再利用する技術を研究する予定です。また、近隣の幼稚園、小・中学校、公民館等からも廃棄物を回収し、コンクリート製品としてお返しすることも考えています。このプロジェクトの進捗状況はHPでもお知らせする予定にしていますので、ご高覧いただければ幸いです。

奉還町や伊島学区、石井学区等と実施している地域連携も次第に周知されつつあり、年を追う毎に連携の要請が増加しています。

奉還町との連携で、デザイン科二・三年生の有志がJ2ファジアーノ岡山の顔出しパネルと似顔絵バナーを制作しました。また、建築同好会はノートルダム清心女子大学の依頼で、生誕一二〇年を迎える児童文学作家・坪田譲治の生家復元模型を製作しました。

部活動では、体育系二十部・文化系七部と十三の同好会に多くの生徒が所属して熱心に活動しています。平成二十二年度も県大会をはじめ、中国大会や全国大会等多くの好成績を残しましたが、ここでは中国大会と全国大会に絞って紹介させていただきます。

春の中国大会では、自転車競技部が学校対抗の部で十一年連続第一位を達成し、四種目で第一位、十三種目で入賞しました。また、黒瀬君は六月のジュニアオリンピックカップ三kmインディヴィデュアル・パースユートでも優勝しました。吹奏楽部は第五十一回全日本吹奏楽コンクール中国大会に出場し、小編成の部(高校部門)で銀賞を受賞しました。陸上競技部は中国高校新人対校選手権大会において、四種目で六名が入賞、学校対抗男子フィールドでも三位に入賞しました。

夏のインターハイ・全国大会には、陸上競技部九名、自転車競技部七名、ボクシン

グ部二名、弓道部一名、水泳部一名、少林寺拳法部十三名の計六部から三十三名が出場しました。また、全国高等学校総合文化祭に写真部の生徒三名が出場しました。中でも、自転車競技部は三kmインディヴィデュアル・パースユートで黒瀬君が第一位、総合得点、トラック学校対抗、四kmチームパースユートで第二位をはじめ七種目で入賞、陸上競技部は男子三段跳びで黒田君が第八位、少林寺拳法部は女子規定組演武で岡・片上組が六位に入賞するなど活躍しました。

国民体育大会には、自転車競技部五名、陸上競技部四名、バスケットボール部一名、ボクシング部一名、水泳部一名の計五部から十二名が出場し、自転車競技少年男子ケイリンで奥村君が第一位、一〇〇〇mタイムトライアルで多田君が第二位、ボクシング少年男子ライト級で金中君が第五位、陸上競技少年男子B走り幅跳びで佐々木君が第八位入賞と好成績を残しました。

このように、生徒はものづくりを中心とした学習や資格取得と部活動を両立させ、先輩方から引き継いだ文武両道の精神で「誠実勤勉」に努力を積み重ねており、学校は生き生きと活動する生徒の活気で溢れています。お近くにお越しの際には、是非とも母校にお立ち寄りいただき、生徒や教職員を激励していただければ幸いです。

結びにあたり、工友会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

平成23年度 工友会総会に向けて

県庁さくら会支部 会長 吉永 知弘 (昭和47年土木科卒)

昨年の記録的な猛暑、今年の厳しい寒さと、環境・気候の大きな変動が続くところですが、工友会会員の皆様におかれましては、ご健勝のことと存じます。

この度、開校百十年の記念となります平成二十三年度の工友会総会を担当することになりました岡山県庁さくら会支部は、土木・建築科の卒業生で組織されています。戦後の経済復興、高度経済成長時の社会資本整備に多くの先輩を含め携わって来たところで、会員は多いときには二百から三百に達していましたが、来年度には五十数名となる予定です。前回の開校百年記念年度の際にも工友会総会に当たらせていただきましたが、会員減少のなか満足な対応ができるかどうか思いあぐねておりましたところ、岡山市さくら会支部の会長より応援のお話をいただきお引き受けすることとなりました。

支部では、毎年の行事として工友会会長、学校長並びに土木科長に出席いただいている総会、岡工卒業生の市町村職員の方々も参加いただく研修会、ゴルフ研修会、また県庁・各県民局の研修会等を開催し、日々の情報交換を含め懇親を図っております。現民主党政権のもとコンクリートから人へのキャッチフレーズで公共事業の圧縮を計っていますが、地域の実情は中山間地域での地域振興、緊急車両の交通確保のための道路整備、今までに整備された社会資本の維持向上、たとえば施設の耐震化、橋梁の長寿命化、また異常気象による災害への対応等、大規模なプロジェクトは抑制されても、県民の安全・安心を守る義務はこれからも続いていきます。我々県庁さくら会は今後も先輩諸氏のご努力を継承し、県庁にさくらとありと抱かれるよう頑張っております。工友会皆様方のご支援をお願い申し上げます。

工友会総会は平成二十三年七月十日(第二日曜日)岡山プラザホテルにて開催いたします。皆様お誘い併せての上、多くの特に若い方々のご参加をお待ち申し上げます。

学校の様子(岡工祭)



建築科1年 展示



模擬店 デザイン科3年 クレープ



模擬店 電気科3年 たこ焼き



電気科2年 展示



デザイン研究同好会 展示



中央廊下



工友会総会・懇親会 岡山プラザホテルにて

工友会総会を終えて

クラレ岡山支部

会長 大塚 克己(昭和48年化学工学科卒)

立春を過ぎたとはいえ、寒い毎日が続いています。工友会の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平成二十二年度工友会総会及び懇親会を平成二十二年七月十一日(日)岡山プラザホテルにおいて、当支部の担当で開催させていただきました。

昨年は猛暑日が続く厳しい暑さの中、併せて第二十二回参議院議員選挙の投票日が重なりましたが、一八七名のご出席をいただき、盛会に開催することができました。お忙しい中、ご出席いただきました工友会会員の皆様、学期末でお忙しいにもかかわらず小林校長先生をはじめ、来賓の先生方にはご出席をいただきありがとうございます。何かと至らぬ点がありました。ご容赦いただきたいと思います。

前回、クラレ岡山支部が担当させていただきました際の支部役員は多くが既に退職しており、前年度担当支部の倉敷市役所支部さんとの引継ぎ以降、経験者への聞き合わせをしながら手探りで準備となりました。資料等についてはOA

化が進み、準備の負担は軽減されたように感じました。しかし、総会担当支部として一番の心配は二百名近い工友会会員の方々の参加がいただけるかになりました。幸いにも当支部の会員の約半数から協力を得られたので、当初の目標をほぼ達成することができました。

平成二十三年度も多くの会員の皆さんに参加いただけるように、工友会役員会で話を進めながら、楽しい工友会総会・懇親会の開催に協力していきたいと思えます。

最後になりましたが、万波先生をはじめとする学校事務局の先生方、プラザホテルの方々、前回の担当支部である倉敷市役所支部の皆様、「あじさい会」の皆様をはじめ多くの方々のご協力により無事に総会・懇親会を終ることができました。担当支部を代表して御礼申し上げます。これからも工友会の益々の発展と工友会会員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げお礼の挨拶とさせていただきます。



支部だより

● 関東支部 ●

支部長
赤木 勤
(昭和30年工業化学科卒)

工友会関東支部は平成二十二年度総会を去る、五月二十三日、お茶の水銀座アスターにて開催いたしました。

当日は遠路、母校小林校長、万波事務局長、同窓会本部山内会長、崎坂副会長が、公私とも御多忙の中、出席していただきました。

今吉副支部長の司会で、次第通り進み、山内工友会長の挨拶、大原事務局長の二十一年度会務報告、会計報告、土井監査の報告が承認され、二十二年年度予算(案)役員(案)も原案通り承認されました。総会終了後、記念撮影、板野顧問による乾杯の後、来賓紹介・懇談会に移りました。校長先生による母校の近況報告、本部役員による政令指定都市となった岡山市の状況が報告されました。

参加者は少ないのですがお互い故郷岡山でのなつかしい青春時代を語り合いながら最後に母校校歌をみんなで斉唱し再



関東支部総会 お茶の水銀座アスターにて

会を期して散会いたしました。

現在事務局大原氏は総会に一人でも多くの参加者をご考慮し、調査、名簿の充実作業を実施しています。案内状の送付に比較し返信が少ないのが残念です。同窓会の使命は母校の発展、会員相互の親睦交流により活発な関東支部にしていききたいと切望しています。よろしく御協力をお願いします。

関東支部会会員数の増加は今後多くは望めません。平成元年から二十一年までの卒業生で関東支部への居住者は二十三人です。この十年間では、わずか六人です。今後組織の活性化が問われますので御意見をお寄せください。

工友会関東支部傘下団体として活発に活動している横浜クラブがあります。

- ①山歩き会 ②ゴルフクラブ ③囲碁クラブ
- ④釣り同好会 ⑤音楽鑑賞会 ⑥落語を楽しむ会など多くの趣味を楽しんでいます。

平成二十三年は岡工創立百十周年記念事業が実施されます。私が在学中五〇周年事業が南方校舎グラウンドで実施され、名古屋大学教授の記念講演がされたのを記憶しています。誠に隔世の感があります。

二〇一一年関東支部総会は四月二十四日(日)お茶の水銀座アスターで実施いたします。多数の会員参加を期待しています。

尚、今まで岡工関東支部の大黒柱として活動して来られた、池口健児氏(機34年)が七月十八日逝去されました。誠に今後の関東支部を考えますと前途暗たんたるものがありますが、心より御冥福をお祈りいたします。(二〇一〇年十一月)



● 大阪支部 ●
(岡友会)
事務局長
高橋 紀 二
(昭和33年工業化学科卒)

工友会会員の皆様には、ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。



大阪支部総会 がんこ曽根崎本店にて

大変だった夏の酷暑も過ぎ秋たけなわに平成二十二年度第三十回岡友会(工友会大阪支部)総会を十月二十三日(土)十二時より大阪梅田「がんこ曽根崎本店」にて開催致しました。昨年より十名増の四十名の方がご参集され、久しぶりの再会を楽しみました。

総会には、ご多忙の中ご来賓として工友会山内会長、母校小林校長先生、工友会事務局長万波先生、岡山県大阪事務所企業誘致課長清田様にご出席を頂きました。

総会は佐藤岡友会会長(土木科昭和32年卒)より、「関西の会員諸兄の交流・懇親の場として岡友会活動を続けて行きたい。」との挨拶で始まりました。

山内会長からは、七月に工友会総会が「倉敷」支部の担当で盛大に開催され、地元での工友会会員の活躍が紹介されました。

小林校長先生より、先生方、学生諸君が世上は景気悪化なれども負けずに学校行事、勉学に頑張り、すばらしい成果を出しているお話をまじえてのご報告とご挨拶を頂きました。

万波先生(事務局長)より、「本部工友会会報の充実を図る外、母校百十周年を迎える企画を考慮中」との話とともに学校行事等がスクリーン上に写し出され鑑賞致しました。

清田岡山県大阪事務所企業誘致課長より、岡山県の発展を期して関西方面で活動している。何かと相談事があれば気楽に立ち寄って頂きたいとお話を頂きました。

総会開始前に幹事会が開催され、取り組み事項、前年の反省等の原案が話し合われ、総会に諮られます。

「議事」に入り、岡友会事務局より会員の動静等の事務報告、続いて会計収支報告、会計監査報告がなされ、懇親ゴルフ大会、総会会場の選択、会員動向等の報告内容が承認されました。

無事に総会を終え、大先輩の佐藤忠夫様の乾杯の音頭で懇親会に入り、毎年の事ながら、卒業年次、科別の違いはありますが同窓の誼みで、ご来賓の山内会長を囲み、家族、仕事、趣味、想い出話等に花が咲き、お昼の一時を楽しく過ごしました。

時が過ぎ、岡工校歌「東天燃える紅の」のDVD伴奏入り(工友会本部作成)に則って意気軒昂に全員で歌いあげ、お互い健康には十分留意して来年の再会を約し散会となりました。

第三十回岡友会(工友会大阪支部)

総会が無事終了したことを支部報告と致します。

(平二十二年十二月)



エコ広場



● 広島支部 ●
支部長
服部芳弘
(昭和29年土木科卒)

工友会の皆様にはご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

平成二十二年度工友会広島支部総会



工友会広島支部総会 ホテルセンチュリー 21広島にて

が六月五日(土)午前十一時より「ホテルセンチュリー 21広島」にて開催されました。総会には山内工友会長、母校より小林校長、万波事務局長のご臨席を賜り支部会員十二名が出席し開会いたしました。

総会では、ご来臨の皆様から工友会の活動状況と母校の近況、特にスポーツや文化活動を通じて地域への貢献等、後輩の活躍を聞き出席者一同にとつて大変頼もしく感じました。

議事に入り平成二十一年度の事業報

告と会計収支報告及び会計監査報告がなされ承認されました。次に支部会則による役員の改選を図ったところ、全員一致で現役員の再任と事務局員として福井龍市郎氏(土45卒)の新任が承認されました。

続いて、平成二十二年度の事業計画と予算計画が審議され全員一致で承認されて支部総会を閉会いたしました。

その後、懇親会に移り三近幹事長の司会により、黒崎万亀夫顧問(土17年卒)による乾杯の音頭で始まり高校時代のエピソード等々親睦を深め終始なかなか時間を過ごし来年の再会を約し閉会いたしました。

その他、支部行事としては新年会を二月五日に十二名、夏期親睦会を八月三日に七名参加し開催いたしました。ゴルフ仲間の「岡広会」は、四月から十二月まで毎月第二木曜日に集まり親睦を図っています。今年度の取切戦は十月十四日に開催して、岸本義徳氏(土37卒)が優勝されました。当会も十一月で第百回を迎えました。支部会員の皆様のご参加をお待ちしています。

最後に工友会の皆様のご健勝と母校のご繁栄をお祈り申し上げます。広島支部だよりといたします。



女性支部(あじさいの会)総会 岡山駅前みよしのにて



● 女性支部 ●
(あじさいの会)
支部長
鳥越 隼
(昭和33年工業化学科卒)

工友会会員の皆様には、ご健勝にて活躍のこととお慶び申し上げます。
女性支部(あじさいの会)は第二十二回総会を、平成二十二年六月十三日に岡

山駅前みよしのに於て開催しました。工友会より武市顧問、高原副会長、崎坂副会長、母校より万波先生のご臨席を賜り、出席十八名となりました。総会では、ご来賓の皆様からお励ましのご祝辞を戴き、続いての平成二十一年度事業報告および会計報告も、全会一致で承認されました。

〔全女性工友会員(千五百余名)に女性支部を知って頂き、ご入会をお願いする。〕と言う懸案の大事業は、二十六名の新入会員を与えられ、皆様のご協力により二十一年度で完結することが出来ました。現在の会員数は九十三名で、その構成は昭和二十九年卒より平成十六年卒まで、五十一年間の卒業生の集いであります。居住地も北は埼玉県、南は沖縄と全国に亘ります。本年の総会も、昭和三十年卒より平成十四年卒までの方々、東京・大阪在住の方もご出席下さいました。懇親会では、年齢差を全く忘れ、初参加の方をはじめ全員が自己紹介、近況報告など、楽しく和やかに歓談いたしました。

七月十一日に岡山プラザホテルにて開催の工友会総会には、当支部より十一名が参加し、皆様と親しく交流を深めました。終了後は場所を移し、初めて参加の二名を交え己憚のないおしゃべりを楽しみました。

本年度も十月一日に、会報第四号を発行いたしました。新入会の二名を含む十名がご寄稿下さり、読み応えのある会報となりました。

十一月十三日の岡工祭では、工友会のために設けられた一室に、油絵・水彩画・備前焼・パッチワーク等の作品展示を行いました。ご来場の皆様に熱心にご鑑賞頂きまして、最近は作品数も減り、今後を危惧しております。工友会の皆様、今秋の岡工祭には、是非ともご協力のほど衷心よりお願い申し上げます。



長年のご功績に対する栄えあるご受勲、心よりお祝い申し上げます。

叙勲受章者

本年度春(平成二十二年春)

瑞宝双光章 なかつかひでお 中塚秀雄 工業化学科29年卒

本年度秋(平成二十二年秋)

瑞宝双光章 おもりたかお 大森譽雄 土木科33年卒

旭日双光章 きむら しげる 木村 滋 機械科28年卒
米国在住



岡工祭 あじさいの会での作品展示

平成23年度工友会総会の案内

担当支部 県庁さくら会

支部会長 吉永 知弘

日 時 平成23年7月10日(日)10時より

場 所 岡山プラザホテル

電 話 086-272-1201



「工友会会報協力金」ご協力のお願い

早春の候、工友会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

工友会会報第52号が出来上がりましたので、お届けいたします。

平成18年度より、全ての会員の皆様に送付させていただいており、母校の現在の様子をお知り置きいただくと共に、会報が工友会の更なる活性化と皆様方の交流の場として役立つことを祈っております。

さて、工友会会報の発行をはじめとする本会の事業は、皆様方からの賛助会費や協力金によって成り立っております。これからも全員の皆様に工友会会報をお届けし、内容を充実させるためには、皆様方の温かいご支援とご協力が不可欠であり、ご厚志を賜りたくお願いする次第でございます。

つきましては、何卒趣旨をご賢察の上、同封の振込用紙にて「工友会会報発行協力金」(2,000円)の振込みにご協力いただきますようお願い申し上げます。

岡山県立岡山工業高等学校工友会会長 山内静男

工友会会報決算報告

平成22年度

発送数……………17,873件

入金件数……………980件

入金額……………2,044,500円

※会報発送事業も五年目を迎えています。紙面の内容も110周年に向けて充実を図る努力をしています。皆様の温かいご支援で、この事業に関わるすべての経費をまかなうようにしています。今後も、会報協力金のご協力をお願いします。

工友会事務局



百十周年にむけて

創立百十周年記念事業についてのお知らせ

母校、岡山県立岡山工業高等学校は、今年(平成二十三年度)の十月十日に創立百十周年を迎えます。昨年の十月十三日に第一回創立記念事業等実行委員会が行われ、準備が始まっています。現在、決まっている記念行事や記念事業などをお知らせします。

一、記念式典

平成二十三年十月七日(金)
十三時~十四時三十分
岡山市市民会館で行います。

二、記念行事

式典後に、工業デザイン科昭和41年卒の「水戸岡 鋭治」様に記念講演をしていただきます。

三、記念事業

今年、三年生になる生徒が、七科から数名選出し、「百十プロジェクト委員」として企画し、生徒製作で校内に残る記念の設置物の製作に取りかかっています。また、制服の一部をマイナーチェンジする予定です。



本校は2011年度(平成23年度)に、創立110周年を迎えます。その情報を伝えるホームページ・ポスター・生徒会情報・配布プリントなどに使用する「創立110周年ロゴタイプ」を、デザイン科2年生が中心となり作成しました。できあがった最終3案の中から、このほど全校生徒投票により、上のものに決定しました。今後、110周年関係の情報をお伝える時は、このマークが脇役となります。



歴代の校章は100周年記念館3Fに展示しております(博物資料館)

校歌

田中 華 作詞
安達 昂 作曲
高田 信一 作曲

一、東天燃ゆる紅の
旭の流れ絶え間なく
誠実勤勉汲み来る
工の道の学舎に
久しき伝統うけつが
我等が母校に誉あれ
二、叡知の陽光輝ける
科学の園を求めゆきて
進取研鑽挽みなく
神祕を探る感激に
文化のはなは開かなん
我等が母校に光あれ
三、蒼穹涯なき古備の野に
生気溢るる若人が
自主と自由を誓いつつ
久遠の理想の星の下
祖国の幸に貢献げなん
我等が母校に榮あれ

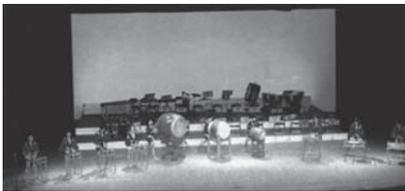
八十周年 一九八一年



80周年記念式典

九十周年 一九九一年

九十周年記念行事として九月に記念体育祭、十月に記念式典と記念岡工祭を実施しました。



式典オープニング 岡工太鼓



90周年記念式典(岡山市市民会館)



90周年記念体育祭

百周年 二〇〇一年

年間を通じ、様々な記念行事が開催されました。また百周年記念マスケットとしてデザイン科生徒による「アツと君」のデザイン・ポスター・懸垂幕・ピンバッチなど様々な取り組みが展開されました。



全校生徒・教職員による100周年人文字



100周年記念式典(岡山市市民会館)



完成した100周年記念館

平成22年 校内行事



工友会入会式



山内工友会会長を始め、副会長・顧問の代表役員八名の方々にご出席いただき、静粛な雰囲気の中、工友会入会式が行われました。これにより、本年度卒業生二七二名が新たに工友会会員に加わり、創立以来の本校卒業者数は二万八千人を超えました。



卒業証書授与

れました。そして、二七二名の卒業生が新たな希望を胸に、三年間の思い出が詰まった学び舎を後にしました。

4月 入学式



担任紹介

四月九日、入学式が行われました。七科八クラス、男子二六九名、女子五十一名、計二八〇名が、希望を胸に入学してきました。清新澁刺な顔、顔・顔・・・岡工をさらに盛り上げてくれることを期待しています。校長からは、授業を大切にして学習に力を入れること、資格取得に頑張ること、部活動に取り組むことの三点を強調した式辞があり、新入生代表からは、勉学に部活動に励む旨の決意表明がありました。

一年生集団宿泊研修（玉野）

四月二十七日（火）、一泊二日の日程で一年生三三〇名が、玉野スポーツセンターへ宿泊研修に出発しました。おもな研修内容は、マナー講習、交通講習、ホームルーム活動、校歌練習、クラス対抗戦等です。



出発前の学年主任の話



バスに乗り込むところ

- 【目的】
1. 集団生活を通して自律心を養い、自主的に集団の規律や秩序を守る態度を育てる。
 2. 宿泊や共同活動を通して、生徒相互間、及び教師と生徒間の親睦を深め、お互いに信頼できる集団づくりを進める。
 3. 各種のオリエンテーション・学習を通して、岡工生としての自覚を持ち、高校生活への早期適応を図る。

5月 校内球技大会

連日の天候不順により開催が危ぶまれていた球技大会でしたが、五月十三日、無事開催することができました。

ドッジボール、卓球、ソフトボール、バレーボールの4種目で試合をしました。どのクラスも一生懸命試合に挑んでいました。授業中にはなかなか見られない（!?）真剣な、それでいてキラキラと輝いているみんなの瞳を見ることができました。



ドッジボール



卓球



ソフトボール

6月

発輝祭

六月七日(月) からほとんどのクラスで保護者個別懇談がありました。それに合せて、保護者の皆様にも見ていただけるように発輝祭もスタートしました。



吹奏楽部による演奏(エコ広場)

7月

オープンスクール

平成二十二年度の本校オープンスクールは、中学三年生を対象に、七月二十九日(木)・三十日(金)の二日間、中学校ごとに日を指定して行いました。参加者数は二日間で、生徒七三八名、保護者一〇五名でした。

主な内容は、希望の専門科の実習風景等の見学を二回していただき、その後希望者には、学校紹介DVDの視聴と、部活動見学をしていただきました。



朝の様子

発表場所

(常設) 本館1階玄関ホール, 1号館2階選択②教室
10日(木) 16:40~・吹奏楽部 エコ広場
16日(水) 16:10~17:10・演劇部 工友会館1階

発表部・同好会

吹奏楽部, 演劇部, 書道同好会, 模型同好会, 漫画総合研究同好会, 写真部, 美術部, マイコン同好会, デザイン研究同好会, 建築研究同好会, 電気研究同好会, 機械研究同好会, 化学研究同好会, 図書委員会, 文化委員会, 選挙管理委員会, 生徒会執行部



機械科



土木科

10月

二年生修学旅行

十月十九日(火)~二十一日(金)、三泊四日の日程で、二年生が、修学旅行を実施しました。

各科は二コース、全体では関東/北海道/沖縄の三コースに分かれて行ってきました。



情報技術科



電気科



建築科



化学工学科



デザイン科



尻別川でのラフティング



時計台

北海道コース (82名)

- 1日目: 岡山→(飛行機)→新千歳
→アイヌ民族博物館→
洞爺湖温泉
- 2日目: 有珠山→ニセコ地区アウ
トドア体験→小樽
- 3日目: 小樽市内班別自主研修→
札幌
- 4日目: トヨタ工場, 観光牧場→
新千歳→(飛行機)→岡山

■修学旅行 生徒の声

北海道コース

- ・ラフティングは、スリルがあり楽しかった。
- ・とても冷たい川でのラフティングは思い出になった。
- ・毎日の食事がとても美味しかった。
- ・沖繩・渡嘉敷島コース
- ・天気が悪かったけど、シュノーケリングで魚が近くまで寄ってきたのがすごかった。
- ・「美ら海水族館」のジンベイザメがかわいかった!

関東コース

- ・ペンション宿泊での料理がとてもおいしかったし、マナーも学べてよかった。
- ・デイズニerlandが楽しかった。
- ・班別自由行動で、東京のいろいろなところへ行ったのがよかった。

関東コース (144名)

- 1日目：岡山→(新幹線)→静岡→河口湖
- 2日目：河口湖→東京ディズニーリゾート又はお台場→ホテル
- 3日目：都内班別自主研修
- 4日目：ホテル→浅草→(新幹線)→岡山



首里城見学



美ら海水族館

沖縄・渡嘉敷島コース (46名)

- 1日目：岡山→(飛行機)→那覇→(高速艇)→渡嘉敷島
- 2日目：コース別体験学習→那覇
- 3日目：沖縄本島観光→ホテル
- 4日目：班別自主研修→那覇→(飛行機)→岡山



聖火の入場

体育祭

平成二十二年十月五日(火)、本校グラウンドにおいて、第六十一回体育祭を開催しました。昼過ぎに通り雨に遭うこともありましたが、保護者・工友会など多数のご観覧もいただき、無事成功裏に終えることができました。

今年から、一〇〇〇m走という新種目が導入され、活躍の場が増えました。生徒たちのエネルギーと団結力が十分に発揮された、思い出に残る体育祭でした。



東京スカイツリー(建設中)



浅草 浅草寺



電気科2年 プラネタリウム

11月 岡工祭

十一月十三日(土)の岡工祭(文化祭)には、新記録となる一、六六五人の方々のご来場下さいました。大変ありがとうございました。生徒・職員にも思い出に残る行事となりました。



部活動対抗リレー



◀ 応援合戦

選手宣誓

「よろしくお願ひします。」



副会長 藤原 会長 廣政 副会長 長谷川

- 副会長 電1 藤原 宝君
- 副会長 電2 長谷川 祐二君
- 会長 電2 廣政 和也君

生徒会新旧交代式

十一月二十四日(水)立候補者立会演説会、投票

定員は、会長一名、副会長二名ですが、今年度は定員と同数の立候補があり、信任投票が行われました。その結果、次の三名全員が信任され、新役員に決定しました。



岡工祭準備中



岡工祭ポスター

同窓会便り

昭和44年卒 機械科 佐藤 貴志夫

思い出

昭和四十四年卒、機械科の同窓会が、平成二十三年一月三日に岡山全日空ホテルで行われました。三クラスの担任の先生と機械科長の先生五名の出席のもと、定年退職をしたあとの第二の人生や当時の思い出で盛り上がりました。今回は少人数になりましたが、今回の開催を約束して閉会しました。



岡山工業高校 機械科 昭和44年卒同窓会
2011.1.3 於岡山全日空ホテル

岡工での思い出(旧職員)

工友会の皆様には、ますますご健勝で活躍のこととお喜び申し上げます。私は昭和五四年四月から岡工に勤務してまいりました。その当時単車での交通事故、違反が多く、指導方針を『取らない、乗らない、買わない、同乗しない』ことに決定した後に



小松 信道
元機械科長

赴任しました。このころから、学習内容の精選が話題にあり、基礎実習に加えて課題研究・情報技術基礎という科目が研究・試行されました。岡工でも専門教科の各学年の時間数が決定され、課題研究に向けて、蒸気機関車を作ろうという話になり、準備にかかりました。車輪関係は、木型から製作し、課題研究・溶解実習で鋳込み、車輪を製作し、ボイラは、銅板から、切断・溶接し、ボルトのステーを何本も入れて、補強し水圧試験で安全を確認しました。各種の部品は、鋼板から機械加工・ヤスリで作られ、組み立てました。機械実習棟の前にあるレールは、土木科にお願いして課題研究でコンクリートを打っていただきました。実際に走る蒸気機関車が製作できたのは、総合的な技術・技能を持った先生方と生徒の基本的作業での参加があったからこそ実施できたのであり、大きな喜びでした。またシンボルタワーもいかに生徒が製作できるか、各科の先生方は苦慮されたと思います。課題研究の終りには、二年生の前で発表会を実施しました。これらが発展して、学校全体の学習発表会も行いました。課題研究から、各種のロボット大会に参戦し、成果を上げました。あわせて岡山県技術顕彰制度への取り組みです。これは資格・検定を取得すると職業教育を中心に表彰される制度です。取得に向けて各教科指導の中で、どのように取り入れて、受験させるか

いろいろと工夫されたと思います。資格・検定の取得から全国工業教育協会のマイスター制度にすぐに参加でき、全国で取得数は上位をしめ、優秀な工業高校であることが理解されたことに非常に嬉しさを感じた次第です。岡工に在職中に、前記のような成果があがったのも、生徒達が放課後遅くまで粘り強く、あきらめることなく、作りあげたこと、また資格・検定にむけて、繰り返し何度も練習し、それを指導された先生方がいたからであり、その中に在職していたのは、この上ない喜びです。最後になりましたが、工友会の皆様のますますのご健勝とご活躍をお祈りいたします。

岡工での思い出(卒業生)

平成3年卒 土木科 小坂田 英明

岡工土木科での思い出

工友会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。私も、岡工を卒業してすでに二十年が過ぎようとしています。高校までの十八年間より高校を卒業して以降の年数の方が多くなり、過ぎし年月の速さを改めて感じています。

私が岡工の土木科に進んだ理由は、当時推薦入学という制度があり、受験勉強しなくても高校に進学できるという安易な気持ちでした。そんな安易な考えで入学した高校でしたが、実際に高校の授業を受けると男女共学の中学までと違い、『男の園』に近い環境の中でも強烈な個性を放ち熱心に授業を進める先生方、そして、時にはそれとは対象的に柱の影で下を向き、机を枕にしている学生達の姿が見受けられる楽しい授業でした。

ここまでですと、その当時の岡工土木科はどんな所だったのかと思われるかもしれませんが、実際には、二クラス八十二人が体育祭では一致団結し、打倒！機械科に燃え、授業や試験勉強ではお互いに助け合い学び、『岡工土木科始まって以来の奇跡』と言われた八十二人入学、八十二人卒業と言う快挙を成し遂げた学年でした。そして、私達の年を最後に、岡工の制服もブレザーになり今に続いています。

そんな楽しい高校三年間もあっという間に過ぎ「卒業」、当時は、バブル景気の最後で、多くの同級生が官公庁や大手企業に就職して行きました。私も県外の大学に進学し、県外に就職し同級生とは疎遠になっていきましたが、九年前に岡山に戻り、また繋がりが戻りました。そんな中で、四年前には同窓会の幹事をする事になり、高校卒業以来はじめて高校時代の恩師の先生方と五十数名の同級生と再び顔を合わせる事ができ、昔話に花を咲かせることができました。

最後になりましたが、高校三年間に色々とお世話になりました先生方に感謝の意を述べると共に、多くの友と出会う場を与え、そして現在の私の礎となる学びの場を提供して頂いた県立岡山工業高等学校の今後の益々の発展を祈念しております。



生徒会長として

第61期生徒会長

麻原 侑 貴 化学工学科3年

私は、昨年の十一月下旬に岡山工業高校の生徒会長として、その重役につきました。そして、一年経った今、私はこの重役を次の学年に譲る時がきました。一年前、前期生徒会長が私に話してくださいました。「生徒会長は、最初なつたら後悔する。でも、最後は絶対にやって良かったと思うようになる。」私は、この言葉を忘れず、日々生徒会長として、仕事をこなしてきました。スタートをきって、たくさんの壁にぶつかりながらも、ゴールの達成感を信じて走り続けてきました。そして、あと数日で、任期が終了し、次の生徒会長にバトンを渡します。この一年の全てを込めたバトンを、岡工発展のために生かしてもらえたらと思います。生徒会長として、私は生徒会執行部の仲間と共に、球技大会、体育祭、岡工祭を成功させることができました。私についてきてくれる仲間がいなければ、私の仕事は、失敗の連続だったと思います。しかし、仲間との連携があったからこそ、失敗を最小限に収めることができたのだと思っています。私は、本当に仲間感謝しています。また、生徒会執行部の顧問の先生方には私たちのことを真剣に考え厳しく指導していただきました。こんな素晴らしい環境の中で、仕事をさせていただいたのだと思うと、感謝の気持ちでいっぱいです。

最後に、生徒会長になって良かったことは色々な人にふれあえたこと、そして、その人間関係で自分を磨けたことです。全校生徒全員が、「第61期、生徒会長はどうでしたか。」と聞いて、「良かった。」と答えてはもらえないでしょうか、それでも、少しでも誰かの役に立てた生徒会長であれたのなら、私の一年間は本当にむくわれます。そして、社会に出たとき、この一年で磨かれた自分を、さらに磨いていきたいと思っています。本当に、生徒会長になって良かったです。

「エコキャップを届けてきました」

昨年度から生徒会の呼びかけでおこなっていたエコキャップ運動で集まったキャップを九月二十九日にNPO法人「エコキャップ推進委員会」へ届けにいくことができました。



今回届けたキャップは19,840個！重さにして49.6kgでした。

約2kg=800個=ポリオワクチン1人分ということで、今回24.8人分のワクチンに相当しました。

今後もこの活動を続けていきたいと思っています。



19,840個、49.6kgのキャップを届けました

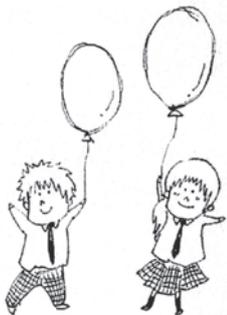
生徒会長より

今回、生徒、先生のご協力のおかげで一〇、八四〇個も集めることができました。

約二十五人分は決して多い数ではありませんが、この積み重ねによりもつと沢山の人を助けることができましたと思っています。

キャップの回収は今後も行っていきますので、ご協力よろしく願います。

そして、協力してくださった皆さん、本当にありがとうございます。



水泳部

機械科3年 西村 俊祐

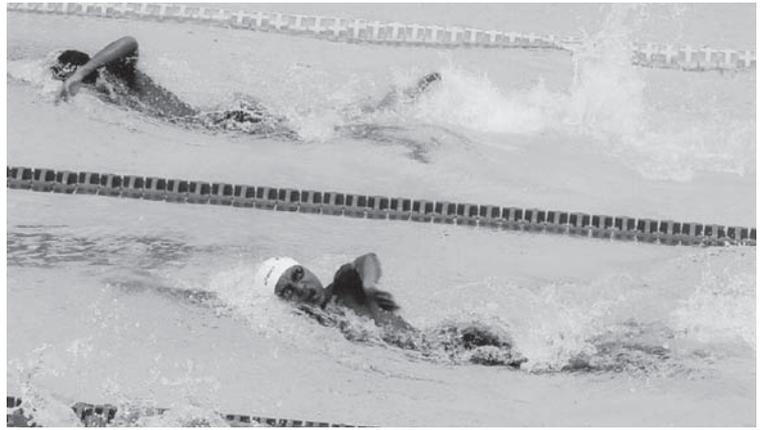
六月の中国大会、この大会の成績でインターハイ出場か、それとも引退になるかが決まる。なのでそれなりのプレッシャーがあった。その一方で今まで厳しい練習にも耐えてきたので自信もあつた。タイムを切るか三位以内に入ることができればインターハイ出場が決まる。結果は二〇〇mでタイムを切り、四〇〇mで三位に入ることができ、インターハイへの出場を手にすることができた。八月、晴天の沖繩に着いた。インターハイでは、プレッシャーはなく自分のレースをすることができ、自分のベストを更新することができた。

しかし、全国との差を感じる結果にもなった。でも自分なりに全力を出したので悔いは無かった。

その後、国体の出場も決まり、高校最後の年に大舞台で試合ができることに喜びを感じた。国体では個人だけでなく県の代表としての責任もあり、大会までの日々にかくさんの練習を積んだ。

そして、大会の日がやってきた。日本代表の選手もたくさんいた。そんな大会に自分も出場していることに誇りを感じた。だが、あまりいいとは言えない結果に終わった。悔いは残るがとてもいい経験になった。

このような大舞台に出ることができたのも毎日の積み重ねがあったからだと思う。



インターハイ出場

高校最後の年にインターハイや国体に出場できるなど、充実した1年にすることができた。
そして、たくさんの貴重な体験をすることができた。その経験を今後に生かしていきたいと思う。



後輩の活躍

建築科3年 小野 敬史



私は今年の夏、設計製図競技会に出場しました。これは、当日出題される条件にそって二階建て住宅を四時間で設計するもので、平面図・立面図・配置図にコンセプトを添えて一枚の紙に仕上げます。競技会には、岡山県内の工業高校の代表者、計二十名が参加しました。

私は最優秀賞を目標として、この大会に向けて三つのことに挑戦しました。一つ目は、線一本一本の技術を磨くことです。二つ目は、当日にどんな条件が出されてもいように、たくさんのパターンの図面を考えることです。三つ目は、実際に人が住んで快適な生活を送れる家にする事です。私はドラフターを使わず、フリーハンドでしか表せない独特な味を表現することに挑戦しました。初めは違う太さや濃さになっていく線が、何度も繰り返し練習していくうちに、真っ直ぐで綺麗な線になっていきました。また、先生から

課題を出してもらい、実際に四時間で図面を仕上げる練習をし、自宅ではその図面を覚えるため、遅くまで机に向かう日々が続きました。競技会が近づくとつれて、時間不足と「人がより快適に過ごすための家づくり」という課題を解決できないことに焦りを感じ始めました。夏休みも毎日のように登校し、先生の話を聞いたり、住宅の広告を見て勉強しました。結局、家族とのコミュニケーションが快適さにつながると考え、どの部屋からでも顔を合わせられる設計に決めました。

競技会当日、想定していた条件の他に、「一階から二階バルコニーに上がる階段の配置」という条件があり、部屋の配置に苦労しました。四時間にわたり、一枚の紙と格闘した末に、自分なりに満足のいく作品をかき上げました。表彰式で最優秀賞と告げられた瞬間、『ヤッターゾー』という言葉が体中を駆け巡りました。

最優秀賞を受賞できたのは、コミュニケーションがとりやすいように工夫したことが一番の決め手だったのでないかと思っています。私は卒業後、医療の道へ進むのですが、この経験を大切にして、相手の人の気持ちを大切にすることを常に考えて行動できる人間になりたいです。



部活動集合写真

後輩の活躍 2010

□各科の入賞
機械科

- ・平成22年度
岡山県職業能力開発促進大会
3級機械系保全部門
金賞(県知事表彰)
- 3年 小林 一真

- ・社団法人全国工業高等学校校長協会主催
第41回機械製図検定
特別表彰(全国トップ)
- 2年 田中 翔大

- ・2級機械加工技能士
(普通旋盤作業) 3年 樽角 康平
- ・2級機械保全技能士
(機械系保全作業) 3年 伊丹 孝一
- ・社団法人全国工業高等学校校長協会主催
第27回全国製図コンクール
最優秀特別賞 3年 藤本 和弥



機械科

- 土木科
- ・測量士補合格(県知事表彰)
3年 中村 雄哉
- ・測量士補合格 計算技術検定
1級合格 3年 藤森 龍大
- 化学工学科
- ・高校生ものづくりコンテスト
化学分析部門岡山県大会
第3位 3年 長岡 大地
- ・岡山県立児童会館より
「こどもまつり」感謝状
化学研究同好会

- デザイン科
- ・フアジアーノ岡山
似顔絵プロジェクト(奉還町商店街)



似顔絵パナーの披露

- ・カバ車ガールフレンド
全国高校生デザインコンテスト
最優秀賞 2年 遠藤 優都

- 建築科
- ・第46回岡山県高等学校工業教育協会
建築系部会設計製図協議会
最優秀賞 3年 小野 敬史
- ・第17回ワンデーエクササイズ
高校生奨励賞
3年 本間 崇平、吉田 統一、
竹原 涼平、難波 和也、
原田 翔平、岩谷 昇輝、
三宅龍之介、前川 章治

- 情報技術科
- ・平成22年度岡山県職業能力開発促進
大会 3級電気系保全部門
金賞(県知事表彰)
- 2年 石岡 匠也
- 2年 市坂 直人
- ・UI20プログラミングコンテスト
最優秀賞(経済産業大臣賞)
2年 石岡 匠也
- ・基本情報技術者合格者
3年 酒井 真大、高野 真一
2年 石岡 匠也、江見 圭祐
肥後 亮祐

- 電気科
- ・2011ジャパン
マイコンカッラー中国地区大会
Advanced Class入賞(1位)
2年 大饗 政典
- ・第二種電気主任技術者合格
3年 西村 力斗
- ・消防設備士(甲種4類)
3年 尾池 博暉

- 部活動成績
- ・少林寺拳法部
第21回岡山県高等学校少林寺拳法
新人戦
男子規定演武(建1) 高山
女子規定演武(化2) 片山、岡

- 自転車競技部
- ・第65回国民体育大会千葉国体
少年ケイリン
優勝 (情2) 奥村 諭志
少年1000mタイムトライアル
準優勝 (機2) 多田 晃紀
- ・インターハイ 優勝

- 陸上競技部
- ・第65回国民体育大会千葉国体
少年B走幅跳
8位 (化1) 佐々木祐弥
- ・中国高校新人陸上競技対抗選手権大会
学校対抗男子フィールド 3位
男子三段跳 (化1) 玉野

- 水泳部
- ・平成22年度
全国高等学校総合体育大会
男子400m自由形出場
(機3) 西村 俊祐

- 弓道部
- ・第33回岡山県高等学校
弓道選手権大会(遠的の部)
男子Aチーム 2位
- ・第49回岡山県高等学校
弓道新人大会 女子個人
優勝 (テ2) 西村 美里

- ボクシング部
- ・第65回国民体育大会
少年ライトフライ級
(土1) 金中 竜児
- 岡山県高校総体 団体優勝

- 卓球部
- ・第52回岡山県高校卓球秋季大会
団体3位
- ハンドボール部
- ・第16回岡山県高等学校ハンドボール
夏季大会 ベスト4

- バスケットボール部
- ・第63回岡山県高等学校春季優勝大会
ベスト8
- ・第49回岡山県高等学校総合体育大会
ベスト8

- 美術部
- ・平成22年度高校生芸術コンクール
金賞 銀賞
- 岡山県高等学校美術展 準特選

- 写真部
- 岡山県高校写真協議会
推薦(県代表)(テ2) 原田多喜絵

- 吹奏楽部
- 岡山吹奏楽コンクール
小編成の部 金賞
- 全日本吹奏楽コンクール中国大会
小編成の部 銀賞



中国大会(島根県民会館)

- バレーボール部
- 平成22年度岡山県高等学校
男女バレーボール選手権大会
ベスト4

- マイコン同好会
- ・UI20プログラミングコンテスト
経済産業大臣(情2) 石岡 匠也
- 山岳部
- ・第50回中間高校登山大会
男子縦走の部 第6位
- 岡山県高等学校秋季大会
男子団体
(情2) 江見(機1A) 村田、
(電1) 有松

編集後記

関係者多数の御協力をいただき、第52号の会報を無事発刊することができました。寄稿いただきました皆様方には、厚くお礼申しあげます。今年度の岡工祭は、天候にも恵まれたこともあり、二六〇〇名以上の方が来場され生徒・教員一同喜んでおります。創立百十周年記念にむけて各料やクラスでの取り組みもみられるなど、見ごたえのある展示や発表になりました。前回の会報に引き続き八十周年、九十周年、百周年の紹介をさせていただきますが、今年度百十周年を迎えます。今回の会報では、百十周年記念行事の報告をさせていただきます。また、誌面充実のため各地の話題・会員の動静・同窓会の報告などがありましてお知らせ下さい。今後ともよろしく御協力いただきますようお願いいたします。

ご意見・情報
お問い合わせは...

〒700-0013
岡山市北区伊福町4-3-92
岡山県立岡山工業高等学校

工友会事務局

tel:086-252-5231
fax:086-252-7130
http://www.okako.okayama-c.ed.jp/